

## 研究報告

## 自治の基盤となる住民間の地域情報共有手法に関する一考察

## (抄 録)

相川康子 (神戸大学)

発表者が神戸大学経済経営研究所在籍時に結成していた「地域経済統計研究会」の活動を基に、小地域統計等の地域情報を提示し、課題の可視化から共有化につなげる手法と役割分担について報告を行った。同研究会は兵庫県庁職員、大学教員、NPO シンクタンクの有志で結成。2008～09 年度に同県養父市と明石市の中心市街地、宝塚市の未成校区で、地元行政や住民と連携しつつ各種統計分析や聞き取り調査を行い、GIS 等を用いて身の丈に合ったまちづくり提案を行った。住民間の情報共有には①統計リテラシー②フラットに話せる場③組織間の情報交流④地域の総合情報媒体⑤住民の情報発信力の強化⑥行政の地域自治推進の明確な姿勢…の課題があり、①～⑤は住民の、①③⑥は行政の課題だが、①②は大学など第三者機関の側面支援が有効である。